

環境と健康



二日間にわたる“エコレシピ”フェスタを開催

きょうそう きょうそう CO2削減をテーマに共漕・共創

「エコレシピ」オーディショングランプリに 脱温暖化プロジェクトせら

脱温暖化センターひろし
まは、一月二十八日、二十
九日の二日間にわたり、「
エコレシピ」フェスタを
広島県情報プラザ（広島市
中区）で開催した。両日合
わせて、約三百人が来場し
た。

一曰目は、自転車の利用
促進により自家用車の利用
を抑え、CO2の排出削減を
目指す広島市地球温暖化対
策地域協議会による「e.c
o.ちゃり談義」を実施。
また、広島を代表する料理
のひとつである「お好み焼
き」を題材に、CO2削減
効果があり、気軽に省エネ
に取り組めるレシピを提出
する「エコのみ焼きコンテ
スト」が行われた。（詳細
は二面に掲載）

二曰目は、広島県と共催
で今年で第四回目となる「ひ
ろしまわが町の温暖化対策
「エコレシピ」オーディシ
ョン」が行われ、県内各地
から十五団体が出場した。

この事業は、地域のシン
ボリックな一品「エコレシ
ピ」を活かした活動を展開す
ることで、脱温暖化の啓発
を行うとともに、地域での
脱温暖化対策の推進を図る
ことを目的としている。

また、オーディションと
いっても出場団体が競い合
う（競争する）のではなく、
共に漕ぎ（共漕）、共に創
りだす（共創）ことをコン
セプトとし、日頃から地道
に、真摯に取り組んでいる
活動を共有することで、活
動の環を広げていくことを
目指している。

今年度は、十五団体が出
場し、活動の内容をまとめ
たパネルやオリジナルの教
材・グッズなどを展示し、
参加者らと熱い情報交換を
行った。また、今回はプレ
ゼンテーションを重視した
十分間の発表を設け、活動
の成果や課題、将来ビジョ
ンなどについて、パワーポ
イントによる説明や寸劇な
ど、工夫を凝らした発表が
行われ、会場は大いに盛り
上がった。

その後、広島出身の若
手落語家「平々
亭青馬（へい
へい）氏による、
「ま」氏による、
古典落語に
学ぶエコあれ
これ」と題し
た高座が行われ、
笑いの中に巧
みにエコを織
り込んだ小話
が披露された。



思い思いの方法で活動を報告する出場団体
(上)会場のロビーではパネルやグッズを
使用した活動が紹介され、しきりに意見交
換がなされていた(右)

「わが町の温暖化対策「エコレシピ、オーディション」 受賞団体エコレシピ紹介

脱温暖化プロジェクトせら 「ちゃんちゃんこでぽかぽかせら」

世羅の寒い冬を“ちゃんちゃんこ”を着て暖かく過ごすことにより暖房にかかるエネルギーを節約し、CO2の削減を目指す。主役は世羅高校生活福祉科の生徒11人と町内に住む手芸が得意なおばあちゃん37人。

目を付けたのは、タンスの中で眠ったままになっている着物。まずは、町内のおばあちゃんに呼びかけ、古くなった着物を提供してもらった。それを高校生とおばあちゃんと一緒に、ちゃんちゃんこにリメイクした。出来上がったちゃんちゃんこは200着以上。ウォームピズとリユースをうまく掛け合わせたことが高く評価された。

また、作成の過程で、おばあちゃんの思い出話を聞いたり、手芸を教わってもらったりする中で高校生との間に交流が生まれ、心と体も暖かくなった。さらに、高校生が地球温暖化問題に関心を持ったことで、今後の活動の担い手となる人材発掘にもつながった。



ちゃんちゃんこのファッションショーが始まると、会場は暖かな雰囲気になった。

オーディションでは、リメイクしたちゃんちゃんこを着たおばあちゃんたちがファッションショーを披露した。

二団体とグランプリ一団体が発表された。グランプリには「脱温暖化プロジェクトせら」が選ばれ、全員で記念撮影をして受賞の喜びをかみ締めた。（審査員特別賞のエコレシピは二面に

掲載

「エコレシピ」オーディションは単なる活動発表の場ではなく、出場者と来場者が、工夫を凝らした実践活動の成果や技術を共有し、互いの連携を深める大切な場である。脱温暖化センターひろしまでは、今後

さんせんか 琴線歌

広島弁は「きつ」とか「こわい」という評価を受けることが多い。映画「仁義なき戦い」以降、このような評価が定着したようだ。オドリヤー（おまえ）とかシゴニスル（ごらしめる）とか、たしかに迫力のある言葉も多い。いっぽうで、朝の連続ドラマ「てっぱん」のあかりや真知子の広島弁を聞いていると、広島弁のやさしさやぬくもりが感じられ、あらためて広島弁のよさを感じたとの声も、新聞の投書などで多く聞かれる。ある方言がきついかかわいのか、一概に決めることはできない。使う人、受け取る側の主観に関わる部分が大い。その意味で、広島弁は相手へ自分の思いを伝えるという、ことばの基本的な機能として願ってもない幅の広い表現のできる言葉といふことになる。▼「てっぱん」の広島弁を、

「てっぱん」の広島弁

生活の場で使われるなまの広島弁とは、どうしても多少の違いを感じることになる。▼瀬戸内海地域で、尾道の方言は、安芸と備後の境に当たり、安芸と備後の方言が交じっている。「てっぱん」のお好み焼きは、大阪風に広島風を取り入れた。尾道の方言は、安芸と備後の両方を取り入れたものとなっている。
(広島大学大学院教授 町 博光)



環境と保健の未来をめざして

財団法人 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号（広島県公衆衛生会館）

TEL:082(293)1511 [大代表]

FAX:082(293)1520

かんぽきょう

検索

